

どっちがいい？

関係性の希薄化した地域と
身近に支え合える地域。

どうすれば自治会活動を
地域のみんなで分担し合
えるのだろうか。

どの組織も高齢化が進んで、
なかなか活動できない。
これからどうしたら…。

うちの区は近い将来、
限界集落になりそうだ。
今まで通りじゃ、到底
やっていけない…。

役員のなり手がいなくて、
何年も交代していないなあ。

コロナで事業を中止した
まま、復活できそうな雰囲気
ではなくなってしまった。
このままでいいのかなあ。

若者が地域の祭りに
参加してくれないなあ。
忙しいのか、
関心がないのか!?

今年のテーマは
「未来を拓く自治会デザイン」

自治会が抱える課題について区長自
身が話し合い、解決の道筋を考える
「自治会研修ワークショップ」。

今年度は、区長以外の自治会役員
方々にも参加いただき、4回にわたり
対話を重ねてきました。

そして、近い将来、自治会がどうなる
といいのかアイデアを出し合い、ビ
ジョンとしてまとめました。

区の運営に関わる皆さんで考案した
6つのプラン、ぜひ会場に聴きに来て
ください。

ちよつと先の未来の 自治会を考える研修会



▲ワークショップの様子

とき

11月23日 (土・祝)
10:00~12:00

ところ

高棕コミュニティセンター
4F たかむく古城ホール

研修会内容

- 集落カルテについて 坂井市市民協働課
- 報告「自治会研修の歩み～未来を拓く自治会デザイン～」
アルマス・バイオコスモス研究所 代表 水上 聡子氏
- テーマ別アクションプラン発表
自治会研修ワークショップ参加者 (6グループ)

主催

坂井市市民協働課

共催

坂井市自治会連合会

申し込みはこのQRから→



TEL 0776-50-3017 Mail machizukuri@city.fukui-sakai.lg.jp

お申し込みは市民協働課に電話・メールまたはQRコードにて受け付けております。